

○多面的機能の確保と持続性のある農業生産体制を構築

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	青森県上北郡横浜町 中山間 大豆田2集落			
協定面積 87.2ha	田 (100%)	畑	草地	採草放牧地
	水稲・牧草・バレイショ			
交付金額 698万円 (平成25年度)	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	1. 役員手当費		4.4%
		2. 集落会合費		4.9%
		3. 水路・道路管理費		83.9%
		4. 多目的機能増進活動費		0.9%
		5. 視察研修費		0.2%
		6. 事務費		5.6%
協定参加者	協定参加者 126人、 協定以外の参加者 5人			開始：平成22年度
人・農地プランの作成状況	集落全域で作成済			

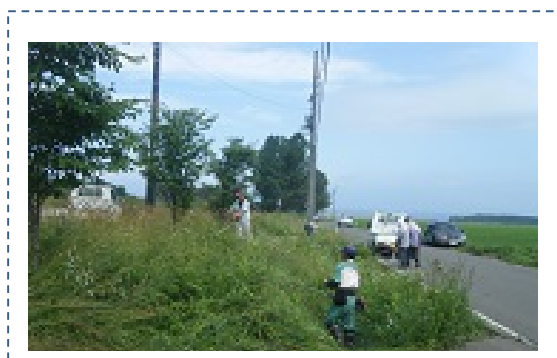
2. 取組に至る経緯

当集落は、横浜町の北側にあり、横浜町の中では、規模が一番大きい稲作地帯である。

若い世代の農業者を増やすため、将来の担い手の育成をし、農業生産の維持を通じて、農業または農村の有する多目的機能の確保し、持続性のある農業生産体制を確立するために、他集落との連携した活動に取り組むことにした。

3. 取組の内容

- ①水路の清掃活動や農道の草刈りをして、作業終了後役員で見回りを行い、集落内の維持管理を行った。
- ②他集落と草刈や農道補修等の共同作業をして地域の連携を図る活動を行った。
- ③持続性のある農業生産体制の確立を図るため、用排水路の整備工事を行った。



【農道の草刈り】



【水路の清掃活動】

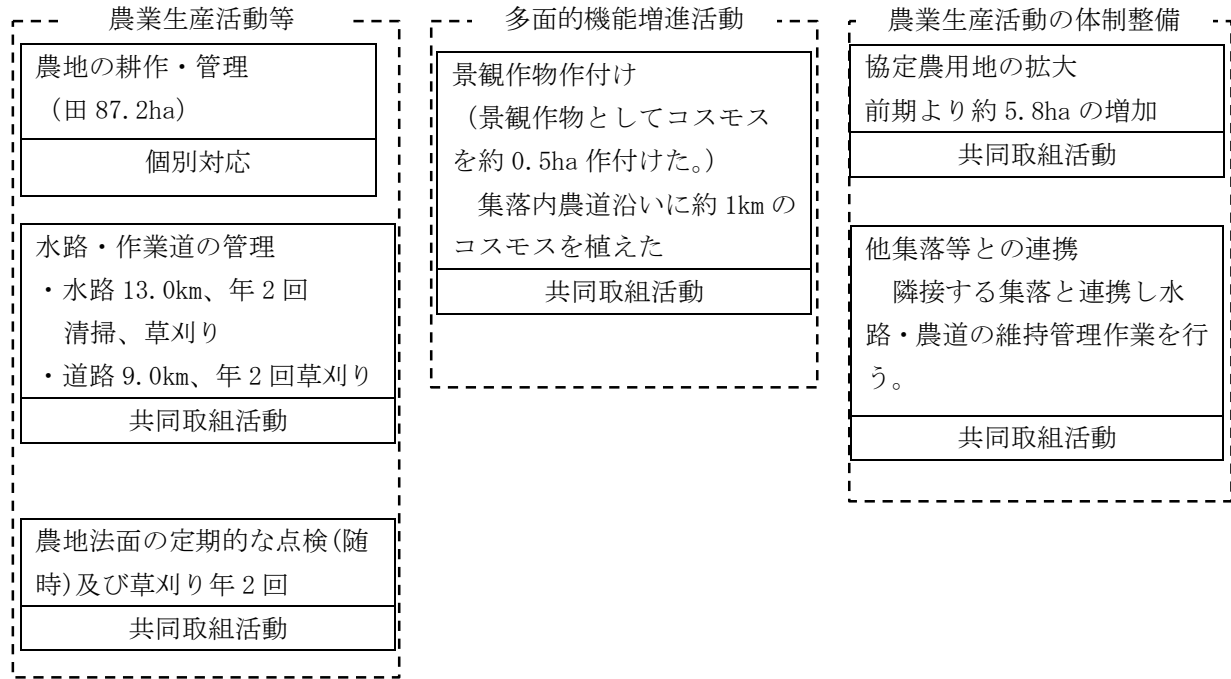
[集落の将来像]

- 当集落では、将来の担い手の育成等による農業生産の維持を通じて農業及び農村の有する多目的機能を確保し、持続性のある農業生産体制を行っていくために、他の集落との連携した活動に取り組むこと。



[将来像を実現するための活動目標]

- 水路・農道等の維持管理をし、多目的機能増進活動を行う。
他集落との連携を行う。



集落外との連携

- 水路の清掃活動や農道の草刈りなどを他集落と共同作業をして、作業効率をよくして連携した活動を行う。

4. 今後の課題等

将来の担い手を育成していき、他集落との共同活動を充実させ、農地の維持や集落の活性化を図る。

[第 2 期対策の主な成果]

- 景観作物の作付け (コスモス・キカラシ休耕地に作付け)
- 用排水路の整備 (U字型側溝 L=494.5m)
- 維持管理作業の参加する人が増えた。